

活動報告 - せまスポ -

津田雅矢 磯部友里亜 今村結乃

概要・活動目標

- ・「せまいスペースでもっとスポーツ」

年齢・性別・障がいの有無等に関わらず楽しめるスポーツの開発、提供

- ・鍵っ子、引きこもり、外出困難な方がひとりでもみんなでも楽しめるレクリエーション

活動内容

- ゼミメンバーでの話し合い、スポーツ開発 週一回
- 施設、団体等との意見交換、せまスポ試遊 週三回程度



図：うちわサッカー開発の様子

活動成果

- ・ 5 種類以上の新スポーツ開発（次頁参照）
- ・ 施設、縁日での試遊、交流
- ・ 各施設でのチラシ配架

話し合い、試遊実施例（敬称略）

北青少年活動センター、京都市長寿すこやかセンター、中京クー
チャーセンター、中京区社会福祉協議会、龍安寺商店街、とんぼ
の家、学内ゼミナール

スポーツ例



『ビー玉ホッケー』

棒でビー玉を操って
ドリブル・パス・シュート!



『うちわサッカー』

ピンポン玉を
うちわで扇いでシュート!



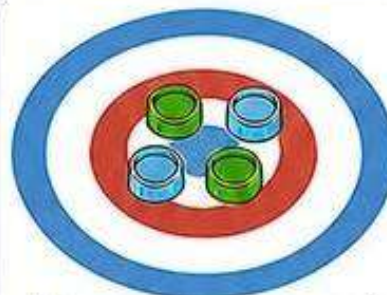
『ドミノしりとり』

ドミノ牌を取り合って
長い単語でしりとりを作ろう!



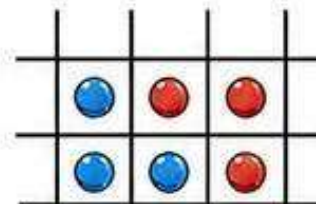
『ブラインド手サッカー』

サッカーなのに
目隠し & 手だけ使う!?



『キャップカーリング』

ビー玉にペットボトルキャップを
被せて中央の奪い合い!



『玉並べ』

玉を投げ合って
先に4つ並べた人の勝ち!

反省点、課題

- より安全性の高い道具、遊び方の開発
- 体力、集中力に合わせた柔軟なルール設定
- ゼミメンバー不足の解消
- 高齢者、障がい者との試遊会の実施

他の学生に伝えたいこと

- 活動を通じ、公的施設や地域団体と関わる貴重な体験ができる
- 大学内外の交流により視野が広がり、社会課題に対する当事者意識が向上する